



避難訓練を実施

万が一の事態に備えるため、いっぽでは、毎月1日に避難訓練と安全点検を実施することにしました。

2月1日は、初めての避難訓練でした。まず、地震が起きたときの避難について学びました。屋内で地震に遭ったときは、外の安全なところに避難するのですが、安全に移動できないような大きな地震の際は、机の下等に身を隠して安全を確保します。机が無い場合は、ダンゴムシのように身を丸くして頭部を守ります。学校でも練習しているのか、子どもたちはまじめに取り組んでいました。



祝 漢検合格

高校1年生のBさんが見事、日本漢字能力検定に合格しました。Bさんはいっぽでも漢字の練習に取り組んでいました。とてもきれいな字で、一文字ずつ丁寧に書くことができていました。基礎・基本の練習をがんばった毎日の努力が実ったわけで、とても嬉しい限りです。



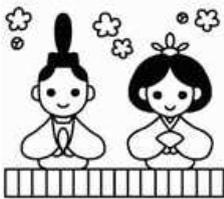
祝 アート展入賞

利用者である、Cさんの作品が、SOMPO パラリンアートカップ2018で、損保ジャパン日本興亜賞を受賞しました。「僕の昼休み」という作品で、宮城県代表として入賞したものです。全国レベルのアート展で、主催は一般社団法人 障がい者自立推進機構で、審査員には、松岩出身のラガーマン、島山健介さんも名を連ねています。作品はスマホ、ネットでも見ることができます。 <https://www.asahi.com/sports/events/pacup/2018.html>



3月の主な活動

3月2日(土) 避難訓練・安全点検
2日(土) ひなまつり
25日(月) 食べ物作り
3月の避難訓練は、2日(土)に実施します。2月とは違う子どもを対象にするためです。



チョコレート作り

2月のお楽しみ行事の一つとして、チョコレート作りに取り組みました。レンジで温めて、柔らかくなったところでフレークと混ぜ合わせたり、アーモンドなどのナッツを載せれば出来上がりです。ちょっとだけ食べて、後はお土産として持ち帰りました。



特技紹介

Aさん

看護師のAさんは、大の猫好きです。猫のために大きなベッドを購入し、飼い猫が喜んで寝ています。猫が好きそうなものは片っ端から買い集め、かなりの過保護です。そのせいか猫とコミュニケーションできるといふ特殊能力を身に付けています。鳴き声で猫の気持ちが分かり、猫と会話できるだけでなく、Aさんが泣いていると、猫が近寄ってきて慰めるように頬を舐めます。最近では、猫だけでなく、いっぽの子どもたちにも愛情を注いで接しているようで頼もしいです。



新しいスタッフ Dさん

2月から指導体制の強化のために、保育士のDさんがスタッフに加わっています。これで、いっぽのスタッフは、11人になりました。ちなみに、現在のスタッフの資格等は以下のとおりです。

施設長：児童発達支援管理者（看護師）
事務長：強度行動障害支援者
支援員：障がいのある子の子育て経験者2人
福祉経験者1人

指導員：元教員2人、保育士1人

看護師：3人（施設長を除く）

みんなで力を合わせて取り組んで参ります。



《編集後記》 いっぽには11人の職員がいます。この11人がそれぞれに活躍していっぽは成り立っています。それぞれの判断で動くこともあるのですが、絶妙なバランス感覚で取り組むことができています。「みんな違ってみんないい」を地でいくチームワークの良さです。職場としてもいい感じだと思います。今回は、高校生の利用者2人の活躍を載せましたが、みんなそれぞれによさをもっているのでもっとたくさん活躍を載せたいと思っている今日この頃です。